



国際会長

2020-2021年度主題

Jacob Kristensen (DK)
「価値観・エクステンション・リーダーシップ」
“Values, Extension and Leadership”

アジア太平洋地域会長 David Lua (SG)

「変化をもたらそう」 “Make a Different”

東日本区理事

板村哲也 (東京武蔵野多摩)
「変化をたのしもう」 “Let's enjoy Changes”

クラブ会長

鈴木 茂
「相手の立場に立って考え、行動しよう！」
スローガン：「思いやりのあるクラブ運営」

2019-2020 クラブ役員

会長 鈴木 茂
副会長 辻 剛
書記 今城 高之
会計 鈴木 恭子

今月の聖句

「あなたがたの間で労苦し、主に結ばれた者として導き戒めている人々を重んじ、また、そのように働いてくれるのですから、愛をもって心から 尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。」

(I テサロニケ5：12-13)

「2021年度
横浜YMCA基本聖句」

5月本例会

(クラブ創立15周年記念例会)

日時 5月28日(金) 17:00～
場所 かけはし都筑(ZOOM併用)
司会 林、受付 今城T

～プログラム～

- 1. 開会点鐘 会長
- 2. ワイズソング・信条唱和 一同
- 3. 今月の聖句・祈祷 相賀牧師
- 4. ゲスト・ビジター紹介 司会
- 5. 会長挨拶 会長
- 6. 卓話 田口努氏
 コロナ禍のYMCA
 ～1年の振り返りとこれから
- 7. つづきクラブ15年の足跡
- 8. 協議・報告事項
- 9. 今後の行事予定
- 10. YMCA報告
- 11. Happy Birthday
 岡崎さよ子 5/11、鈴木茂 5/21
- 12. スマイル・アピール
- 13. 閉会点鐘 会長

《今月の巻頭メッセージ》

コロナ禍の中での嬉しい出来ごと

胡麻尻眞佐

事情が許せば毎年行っていた神戸への墓参でしたが、一昨年は実行できずに終わりました。昨年12月に思い立って娘たち二人が交代で運転して神戸墓参を致しました。途中休息を取りながら6時間半で無事神戸に到着しました。

墓参の他に寄りたい所がありました。私の母校の県立星陵高校同窓会館です。創立80周年記念行事の案内がありましたので絵画の展示で参加したく、写真と手紙等で連絡を取り、7月末に30号の絵を送りました。その絵は、約60年前、神戸から友人達と夜行列車で信州に行き、初めて登った白馬を描いたものです。縁あって、10年ほど前、近くの友人と白馬村にスケッチの旅に出かけ、後日30号の白馬連峰油絵に仕上げました。此度、展示されている同窓会館に初めて訪ねることが出来ました。また、会館には偶然先輩にあたる画家の石坂春生氏の200号の大作が飾られていました。石坂氏はポートピアホテルの壁画を描かれた画家ですが、私の義姉の兄上なので、身に余る光栄と思っています。また、墓参については、出張先の北海道から駆けつけてくれた婿殿の活躍があって、器具を使っでの清掃が出来ました。夜は舞子の居酒屋で新鮮な魚介類とお酒を楽しめました。翌日、帰りは、浜名湖の星野リゾートホテルに一泊し、鰻ランチを満喫し、道の駅で野菜等を調達しながら無事帰宅しました。いつもは、私は一人新幹線、娘たちは各々飛行機ですが、この度は計らずも車で同行でき、楽しい旅となりました。(完)



4月のデータ

例会出席	14名	在籍会員数	18名	各種記録	4月実績	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	スマイル	9,500円	49,590円
ビジター	1名	メーキャップ	1名	—	—	—
ゲスト	名	月間出席率	78%	—	—	—

《4月度本例会報告》 榎藤 徳彦さん（東京町田コスモスクラブ）をお迎えして

日時 4月23日（金） 17:00~18:45
 場所 かけはし都筑
 出席者 相賀、今城T・H、岡田、鴨下、坂口、
 鈴木K・S、福島、林
 ZOOM 辻Ta・Ts、横田
 ビジター 榎藤徳彦さん（東京町田コスモスC）
 （合計14名）

～概要～

- ◇ 鈴木会長の開会点鐘と開会宣言の後、全員でワイズソング・ワイズの信条を唱和。
- ◇ 相賀チャプレンによる今月の聖句“ローマの信徒への手紙 6-9”の朗読ならびに祈祷があった。
- ◇ 鈴木会長が挨拶に立ち、残念ながらこししばらくは、対面、ZOOMのハイブリッド例会が続くが乗り切ろう。本日は、榎藤さんを卓話者に迎え、Y'sly！につき大いに語って頂き元気をもらいたい、等が述べられた。
- ◇ 卓話： テーマ：Y'sly！（ワイズリー）

講師：榎藤徳彦さん

●これまでに5つのクラブ立ち上げに関与してきておりつづきクラブは三男坊とも言え、大変思い入れが深い。

●“Y'sly”の精神は、「コロサイの信徒への手紙3：3」によるもので、復活の力、逞しい未来へ」といった意味が込められている。



●Appreciationとは事の真価を知って感謝すること。Y'slyに生きるということは、神様から力を頂いて心新たに奉仕を行い、交流で活かされ、YMCAと共に生きるということ。キリストの行いを見習った活動を神様が祝福して下さる。

●会員増強は大切であるが、ワイズのために人を増やすと思いがちだが、活動の拡充のために人を増やすと考えることが重要。

●新しい奉仕の中で人との繋がりをひろげよう！

●クラブ不在の新潟県に新クラブを設立しよう！

等々、ワイズへの思い、ワイズへの期待などを力強く述べて頂いた。

- ◇ つづきクラブ15周年記念行事の件につき、会長より、5月28日の本例会を15周年記念例会と位置付け、17:00より「かけはし都筑」で開催する。日本YMCA同盟の田口努総主事に記念講演を行っていただく予定との報告があった。また、6月号のブリテンを記念号として、メンバー全員、ワイズ、YMCA関係者からのメッ

セージを掲載することとし、メンバーへの寄稿による協力要請があった。

- ◇ 本年9月25日に開催予定の「第10回You & I コンサート」は、①会場の公会堂がコロナワクチン接種会場となり利用できない、②来場者に幼児、障がい者が多いことから、無理をすべきではない、等の理由から、本年中の開催は行わないこととし、その旨、運営委員会メンバー宛てに連絡することとなった。
- ◇ 今年度中（～2021.6.30）の行事予定につき鈴木会長より計画が示された。（詳細は下段に掲載）
- ◇ 横浜北YMCA鴨下館長よりの報告によると、新年度になり一か月が経過したが、ほぼすべてのプログラムは予定通り進捗している。バザーが開催できなかったため、街頭募金に力を注ぎ、想定以上の成果が出ている、等につき報告があった。
- ◇ 鈴木恭子（4/9）、福島佐世子（4/17）両ワイズの誕生を祝い、全員でHappy Birthdayを唱和。
- ◇ 久しぶりにスマイルを行い、各自榎藤さんへのお礼、近況報告などを行った。
- ◇ 鈴木会長の点鐘と宣言で閉会。

（今城T・記）



（当面の行事予定）

日 時	場 所	行 事
5/11(火) 17:00～	田園都筑教会	5月事務例会
5/28(金) 17:00～	かけはし都筑	5月本例会・創立15周年記念例会
5/29(土) 14:00～	YouTube	横浜YMCA 会員総会
6/1(火) 19:30～	横浜YMCA	Y-Y's協議会
6/8(火) 17:00～	夢Café	6月事務例会
6/19(土) 14:00～	横浜YMCA	第4回部評議会
6/25(金) 17:00～	かけはし都筑	6月本例会

《お手紙》我々のクラブ設立当初からお付き合いのある【みんなの家】からお手紙が寄せられたのでご紹介します。同団体の賛助会員として会費を納入した際に届いたものです。【みんなの家】は当クラブの年中行事でもあるYou & Iコンサートの運営委員も務めて頂いています。

令和3年4月23日

この度は、令和3年度/NPO法人みんなの家/賛助会員にお申込みいただきありがとうございました。平成16年6月『障がいのあるなしに関わらず生きていける社会の実現をめざす』ことを目的にNPO法人【みんなの家】は設立されました。

その2年後、センター北駅前に【みんなの家】を立ち上げ、そこを拠点に〈共に生きる〉を合言葉に様々な活動を続けてまいりました。

令和元年3月には念願のコミュニティーカフェが〈みんなの夢カフェ〉として出来上がりました。これからは地域の中により溶け込み、地域の皆さんと一緒に私たちの思いを実現させていけるものと張り切っておりました矢先、コロナ禍に見舞われなすすべもありません。いま今日に至っております。

昨年3月より、学童班と一部の余暇活動を除いては、ほぼ全

面休業のままずっと令和2年度が終わり、そのまま4月を迎えてしまいました。このまま休み続けることの弊害も起こってはいるのですが、世間の感染状態の悪化を見るにつけ、やはり今は我慢の時、今後の状況を見極めながら柔軟な対応をとっていきかないと心を決め令和3年をスタートさせました。

勿論、障がいのある人たちが地域に溶け込み、色々な人と親しみ、地域住民の一人として誇りを持ち、堂々と生きていける社会の実現をめざしたいという私たちの思いは少しもぶれることなく今もしっかり持っております。こんな時だからこそ、どうぞ皆様のお力で【みんなの家】をコロナから守り、コロナ収束後には、今まで以上に体力のついた【みんなの家】になっていけるよう見守り続けて頂きますようよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 みんなの家

理事長 高山 和彦

《会長のひと言》

渋沢栄一とワイズの信条

鈴木 茂

NHKの大河ドラマ「青天を衝け」が佳境に入ってきました。主人公の渋沢栄一は小さいころから「論語」に親しんできたと言われています。その談話録である「論語と算盤」で渋沢は、「経営（算盤）は道德（論語の精神）が伴わなければ、永続きしない」と熱く語っています。

論語といえば私は、高校時代の漢文の時間に若干学んだ程度で、断片的な有名節文は記憶していましたが、その全体像は理解していませんでした。そこで大河ドラマが始まったのを良い機会と考え、論語の訳注書を2冊読んでみました。訳注者によってかなり解釈の違いがあることに驚かされました。ほぼ時を同じくして宮城谷昌光の小説「孔丘」が出版されたので、それも目を通しました。そこには失言や失敗があり、弱さを持った孔子像も描かれており、少しほっとした気になりました。

孔子が教える徳目は種々ありますが、中でも重視されているのが「仁」という徳目のように思われます。孔子は相手

が君侯であろうと弟子であろうと、相手の立場や理解度に応じて説明を変えており、「仁」についても問う相手に応じて説明が異なっています（それぞれ「仁」の真理の一面を語っているのですが）。ある時孔子は弟子の一人から「仁とは何か」と問われ、「他者を愛することだ」と答えています。

渋沢栄一が道德に基づいた経営の必要を主張する時、その道德とは孔子が説く人の道であり、その中心徳目が「仁＝他者を愛すること」であるとするならば、渋沢は現在のYMCAやワイズメンズクラブに近い価値観を持っていたのではないかと思います。現に彼は戦前におけるYMCAの良き理解者であり、強力な後援者でありました。

もし渋沢栄一が、ワイズメンズクラブはYMCAを支援し、聖書の教えの実践＝他者を愛することを理念に掲げ、且つワイズの信条に1. 自分を愛するように、隣人を愛そう、5. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう、を謳っていることを知るならば、渋沢栄一はきっとわが意を得たり、とほほ笑んでいるに違いありません。

(2021.5.3)

《15周年記念例会のご案内》

2006年5月13日から15年、皆様のご支援、ご協力により我々のクラブも創立15周年を迎えました。本来であれば、皆様にもお集まり頂き記念の行事を行うところですが、現下のコロナ禍に鑑みて、クラブメンバーのみで細やかに15周年を祝うことと致しました。当日の様子をZOOMで配信する予定ですので、皆様におかれては是非ともご参加いただき、ともに祝っていただきますようお願い申し上げます。ご参加いただける方は、以下の東日本区WEBサイトに掲載した案内に従いお申し込みください。

(URL: [横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ - ワイズメンズ国際協会 東日本区 \(ys-east.or.jp\)](http://横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ - ワイズメンズ国際協会 東日本区 (ys-east.or.jp)))

《例会報告》 先般、対面、ZOOM併用で開催された事務例会の概要を報告します。

日時：5月11日（火）17:00~18:30

場所：田園都筑教会

出席者：（対面）今城T、岡田、鈴木S、林

（Zoom）今城H、胡麻尻、坂口、鈴木K、辻Ta・Ts、横田（計11名）

《議事》

◇ 鈴木会長が開会を宣言して挨拶を行い、コロナ禍での対面、ZOOMそれぞれの参加者に謝辞を述べた。

◇ 会長は、東日本区では今後ハンドブック/ロースターの紙による発行は行わず、デジタル版のみの発行となったことを再度伝え、掲載事項についてメンバー各位の確認を依頼した。

◇ 当クラブが5月13日をもって創立15年を迎えるにあたり実施する記念行事の再確認を行った。

1) 6月号クラブリテンを15周年記念号とし、クラブメンバー、関係者による寄稿を募る。クラブメンバーは、5月25日までに文章400字、顔写真の提出が求められた。テーマは「つづきワイズに参加して」とし、自由に所感を記載することとなった。

2) 5月28日を記念例会と位置付け（17:00開会）、田口努日本YMCA同盟総主事に「コロナ禍のYMCA～1年の振り返りとこれから」のテーマで記念卓話をしていただく。なお、例会は「かけはし都筑」で行い、対面とZOOMの併用で行う。会長より、会員は無理のない範囲で会場に参加し

てほしいとの要請があった。なお、例会の中で、クラブの歩みを映像化して紹介する（林ワイズ担当）

◇ 会長より、東日本区の「Change！2022」キャンペーンに呼応しての会員増強への協力が要請された。入会候補者リストへの追加が要請された。なお、「Change！2022」のニューズレター最新号に当クラブ坂口ワイズが新入会者としての所感の寄稿が掲載されている。

◇ 会長より、15周年を記念してJEF（東日本区ワイズ基金）への献金をしてはどうかとの打診があり、15周年をもじって15,000円の献金を行うことを決定した。なお、辻TsワイズよりJEFは今期の「Change！2022」キャンペーン運営費用を拠出している旨のコメントがあった。

◇ 会長より、今後当面の間のクラブ行事が示され確認した。なお、6月の本例会は、ロバート・エスキルドセン氏（ACN所属、ICU副学長）に卓話をお願いしている。

◇ 都筑区社協のボランティア分科会を福島ワイズが担当することを確認し、併せ、必要に応じて岡田ワイズがサポートすることを確認した。なお、次回ボランティア分科会は5月19日に開催。

◇ 先般、ご主人紀昭氏が天に召された三木ワイズの近況を今城Hワイズが紹介した。過去に、当クラブの行事に何度も参加された紀昭氏を偲んで全員で黙祷をさされた。

◇ 会長の閉会宣言で閉会。

（完）

《特別寄稿》

‘主にまかせよながみを’（紀昭兄愛唱讃美歌）

今年のペンテコステは5月23日。私共の教会では毎年、赤い炎の形に切り抜いたステッカーをジュニアチャーチの方たちに作っていただき、礼拝出席者にお配りしています。昨年はWEB配信のみの礼拝でしたが、今年は2回に分けて、少人数の出席で礼拝が行われます。毎年この時期にはアマリリスが満開、美しく咲いた真っ赤な花束を三木さんご夫妻が礼拝堂に飾ってくださっていました。

紀昭兄が病を得られてからあまりにも速く天国へと旅立たれ、直子さん、

ご家族はもとより私たちも大きな悲しみの中にいます。

聖霊の炎のような真っ赤なアマリリスをを思い浮かべながら、紀昭兄の天国での平安をお祈りし、残されたご家族はじめ、生かされている私達が聖霊によって力強く歩んでいくことが出来ますよう祈ります。

（今城宏子 記）



《去年の今頃》

昨年5月号のプリテンを見ると、「しばらくは離れて暮らす“コ”と“ロ”と“ナ” つぎ逢うときは“君”という字に」なる狂歌を紹介しています。恐怖心は高かったものの、まだ心に余裕があったのかも知れません。未だ君になれぬ日々ですが、ワクチン接種が現実化してきています。もう少しの辛抱、君になる日が近いことを念じつつ！

《余談》

アマリリスの歌、懐かしくないですか？

「みんなできこう 楽しいオルゴールを、

ラリラリラ しらべはアマリリス」

もともとフランス民謡で、日本人が歌詞をつけ、戦後長い間音楽の教科書にのっていました。今もオルゴールやチャイムによく使われているので、メロディーはご存じかも知れませんね。

（Googleより）

北 Y 便り

横浜北YMCA 館長 鴨下 純久



1 998年から5年間、横浜北YMCA健康教育部の責任者を務めて以来、約20年ぶりに横浜北YMCAの担当となり1年が経過しました。コロナ禍の対応を最優先した1年でありましたが、多くの方に支えられて運営できていることに改めて感謝します。

さて、20年前の横浜北YMCAと現在を少し比較してみたいと思います。当時と大きく変化したことの一つは、週末に参加する幼児が増えたことです。特に日曜日のベビースイミングは人気が高いクラスとなっていて、パパと参加する方も多くいます。このことは平日保育園に在籍する方が週末をYMCAで過ごす方が増えていることも要因として挙げられます。また、近隣の保育園から保育園の先生が園児を引率し、YMCAの施設で体操指導を行っていますが、当時は考えられないことでした。YMCAのリーダーが保育園から園児を引率して水泳クラスに参加しているメンバーもいます。

横浜北YMCAが受託している菊名小学校放課後キッズクラブには、180名を超える生徒が登録していますが、20年前には放課後キッズクラブそのものが存在しませんでした。菊名小学校からYMCAまでリーダーが生徒を引率して、水泳

やサッカークラスへ参加するメンバーも増えてきました。

働く親が増え、保育園や放課後キッズクラブで過ごす児童・生徒が増加する中で、習い事の参加形態が変化してきたことが伺えます。時代と共に求められる形態が変化する中で、それを読み取り満足度が上がる取り組みを実践していきたいと思います。 (完)



《新入会者ご紹介》

若干旧聞に属しますが、今年1月に当クラブに入会された坂口直樹さんが、最新の東日本区“Change! 2022”ニュースレターに寄稿されていますので、以下に転載し、改めて坂口さんのご入会を歓迎します。 (編集子)

本

年1月につづきクラブに入会させていただきました。



昨年10月クラブ例会で情報セキュリティに関して卓話をさせていただきメンバーの方々との楽しいコミュニケーションが始まりました。それ以前に鈴木会長とはご近所同士のお付き合いがあり、何度も熱心にお誘いいただきました。また、YMCA健康福祉専門学校で社会福祉士の勉強したことでYMCAファンでしたし、それら全てのご縁が自然とつづきクラブ入会へ導いてくれました。YMCAの価値である「愛と奉仕の実践」、「奉仕の心を地域社会にひろげる」は大変共感できます。私は高齢者年齢になり、健康維持(体)、社会とのつながり(心)、新しいものへの興味を失わないこと(脳)を老化防止と考えていますが、活動を通してそれを実現し地域の共生社会にも貢献ができることを期待しています。メンバーの方々の暖かい歓迎の心を感じつつ、この世に生かされワイズで活動できてよかったといえるよう一所懸命参加したいと思っています。

6月クラブ例会のご案内

6月25日開催の今年度最後の例会は、卓話者にロバート・エスキルドセン (Robert Eskildsen)さんを予定しています。現在、国際基督教大学教授を務めておられるロバートさん(我々は“ロブさん”とお呼びしています)は、米スタンフォード大学で博士課程 (Modern Japanese History)、国際基督教大学で修士課程 (日本史)をそれぞれ終えておられる方で、我がクラブの所在する都筑区に住んでおられることもあり、日頃より、様々なお付き合いを頂いている方です。

また、ロブさんの奥様は、私共が日頃大変お世話になっている地域のNPO法人「アーモンドコミュニティ・ネットワーク」を主宰される水谷裕子さんで、ロブさんも同法人の役員としてご活躍しておられます。ロブさんにつきましては、次のURLから情報取得できます。 [ICU研究者情報データベース - エスキルドセン, ロバート | 国際基督教大学](#)

☆例会の詳細は次の通りです；

日時 6月25日(金) 17:00～

場所 都筑区社協「かけはし都筑」

横浜市営地下鉄センター南駅より徒歩5分

☆クラブ会員以外で参加ご希望の方(対面・ZOOM)

は 鈴木茂クラブ会長までご連絡ください。

E-mail: gsuzuki@a04.itscom.net

～Photo Archive～

(編集子)

出

口の分からない迷路を手探りで歩いているような毎日です。何でこんなことになったのか、と思うこともあります。解は見つかりません。誰もマスクなんかしていない、あの頃に戻れるのだろうかと思いつつ、あの頃を画像で追ってみました。

今からちょうど2年前の2019年5月24日、富士山YMCAで、我がクラブ恒例の「富士山例会」に横浜クラブ、つるみクラブの仲間も参加して行った「合同一泊研修会」の様子です。こんな日々が必ず戻ってくると信じて！



～～～編集後記～～～

▽昨年のブリテンを繰ってみますと、一月は通常通りの本例会が行われましたが、二月以降は全てのプログラムが中止されています。▽一方、一日の横浜市内の新規感染者は一桁台で、例えば、市の発表による昨年5月15日の新規感染者は8名とあります。あの時の恐怖心、警戒心を持続していたら、今、こんなことになっていなかったのでは：：▽ワクチン接種が始まったとはいえ、電話もスマホも繋がらず、どうしたものかと思っている矢先、掛かりつけの医院で個別接種をするとの朗報、早速編集子も、妻共々登録しました。一安心！▽5月8日未明、クラブメンバー三木直子さんのご主人、三木紀昭さんが天に召されました。享年七十八歳。クラブへの入会は頑なに固辞されましたが、クラブの活動には折に触れて参加してくれていました。母校慶応大学の学Yでは大いに活躍されたと同っていました。紀昭さんの魂は神様のもとでくつろぎを得ておられると信じます。三木直子さんをはじめ、ご家族のうえに神様の温かいお慰めがありますように。

(編集子)